



## 6月24日(月) プログラム 1日目

時間	項目	演題	
9:30-		受付	
10:00-10:10	開会	開会挨拶 小堀 秀毅 ((公社) 新化学技術推進協会 会長)	
10:10-11:00	基調講演 (S-1)	<b>産学官連携によるイノベーションの創出</b> 石塚 博昭 ((国研) 新エネルギー・産業技術総合開発機構 理事長) NEDO は、エネルギー・地球環境問題の解決、産業技術力の強化、研究開発型ベンチャーの育成をミッションとし、その達成に向けて産学官連携プロジェクトを推進。独自のプロジェクトマネジメントのノウハウを活かし、イノベーションの創出を実現している。	座長 白井 博史 旭化成
11:00-11:45	招待講演 (S-2)	<b>デジタルビジネスが迫る本質的な価値観の変化と化学業界への影響</b> 梶本 一夫 (ルネサスエレクトロニクス(株) オートモーティブソリューション事業本部 技師長) 高度経済成長期には輸出の花形であった電化製品、半導体ビジネスが変調をきたし、イノベーション創出、市場での存在感、そして企業価値が Google や Amazon、Alibaba、Qualcomm、MediaTek などの海外企業に大きく差をつけられてしまっている。一方で、Uber や Airbnb のように、これまで IT とは縁遠かったタクシー業界やホテル業界でもビジネス構図を大きく変える変革が起きている。話題のデジタルビジネスの抱える本質的な価値観の転換の正体は何かについて述べ、現在好調のデバイスビジネスや材料ビジネスへどのような影響を与えていくのかについて考える。	
11:45-12:30	特別講演 (S-3)	<b>環境とイノベーション政策について</b> 飯田 祐二 (経済産業省 産業技術環境局長) COP24で、世界全体で気候変動対策を進めていく上で非常に重要な成果である、パリ協定の実施指針が採択された。我が国では、パリ協定の長期戦略策定に向けた検討等が進められているが、本講演では、地球温暖化対策と、この柱であり、また、我が国産業の成長基盤を創出するイノベーション政策について、経済産業省における最新の検討状況についてご紹介する。	座長 大春 一也 AGC
12:30-13:20		休憩(昼食)	
13:20-14:10	基調講演 (S-4)	<b>人類の進化と未来の社会力</b> 山極 壽一 (京都大学 総長) 700 万年の進化史を通じて、人類は信頼できる仲間の数を増やそうとしてきた。言語の登場に始まるコミュニケーション技術はその一環である。しかし、ICT や AI の登場は人類に新しい物語と社会力をもたらしている。	



## 6月24日(月) プログラム 1日目

時間	項目	演題
14:10-14:55	招待講演 (S-5)	<b>タンデム型反応による含フッ素化合物の合成</b>
		袖岡 幹子 ((国研) 理化学研究所 主任研究員) ステップエコノミーの観点から重要なタンデム型反応の一例として、フルオロアルキル基を導入すると同時に、炭素-炭素、もしくは炭素-ヘテロ原子結合の形成を行う事ができる、二官能基化型フルオロアルキル化反応について紹介する。
14:55-15:40	招待講演 (S-6)	<b>全固体電池実用化に向けて</b> - 材料開発と電気化学反応 -
		菅野 了次 (東京工業大学 教授) 高性能、高安全性を有する次世代電池として早期の実用化が期待される全固体電池の研究最前線をキーテクノロジーである固体電解質材料および固体固体界面の電気化学反応解析などの観点から紹介する。
15:40-15:50	休憩	
15:50-16:00	<b>GSC 賞の紹介</b>	
16:00-17:20	GSC 賞受賞講演	<b>大臣賞、ベンチャー企業賞・中小企業賞受賞者による講演</b>
17:20-17:40	GSC 賞表彰式	
17:40-17:50	休憩	
17:50-19:20	レセプション	

座長  
濱川 聡  
産業技術総合研究所



## 6月25日(火) プログラム 2日目

時間	項目	演題	
9:00-		受付	
9:30-10:15	招待講演 (S-7)	<b>バイオエコノミーの実現に向けたセルラーゼのメゾ領域研究: 10<sup>15</sup>の壁を越えて</b> 五十嵐 圭日子 (東京大学 准教授) バイオエコノミーが「生物圏に負荷をかけない経済活動」と聞いて、自分事と受け止める研究者は少ないだろう。本講演では、様々な分野でゲームチェンジを生むバイオエコノミーによる変革と、そこで研究者がいかに振る舞うべきかを、フィンランドで実際にバイオエコノミーの研究を行っている演者が実例とともに紹介する。	座長 宇山 浩 大阪大学
10:15-11:35	パネル ディスカッション	<b>「未来社会ーグローバルオープンイノベーションの真髄に迫る」</b> オープン・イノベーションその成功の鍵とは。SDGsをもとに新事業を創造するには。新たな価値創造をうまく繋いでグローバル展開で大きな価値獲得するには。先駆的なパネリストを招いて、オープン・イノベーションの真髄に迫る議論を展開します。 モデレーター：松本 毅 (一社)Japan Innovation Network 常務理事 パネリスト：三寺 歩 ミツフジ(株) 代表取締役社長 横田 俊之 沖電気工業(株) 執行役員 J. ラーダー キリシヤン ナーヤ P&G イノベーション(同)研究開発部 ヘッド、オープンイノベーション(日本・韓国)	
11:35-15:20	EXHIBITION	<b>ポスター発表 企業・団体展示</b> 企業・団体展示/ポスター掲示は 11:35~16:00 で実施します。	<b>ポスター発表(70分) (前半 コアタイム) 12:10 ~ 13:20</b>
			<b>企業・団体展示 ショートプレゼンテーション(30分) 13:20 ~ 13:50</b>
			<b>ポスター発表(70分) (後半 コアタイム) 14:10 ~ 15:20</b>
15:20-15:30		休憩	



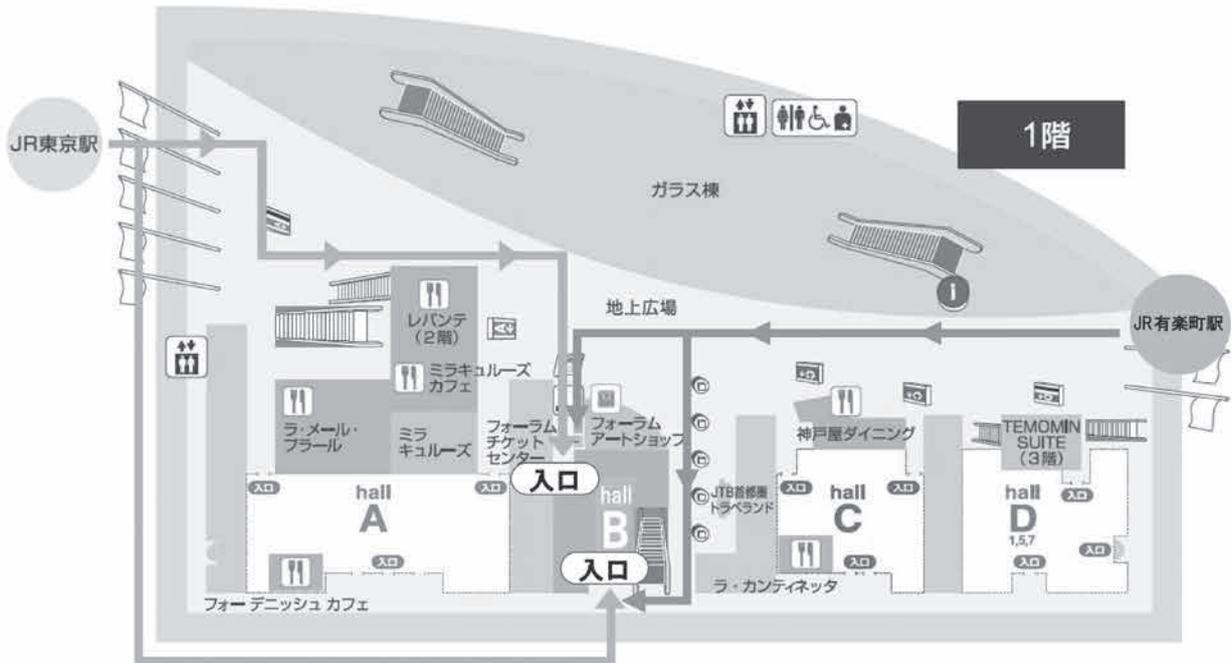
## 6月25日(火) プログラム 2日目

時間	項目	演題	
15:30-16:15	招待講演 (S-8)	<b>セルロースナノファイバー - 脱炭素社会における持続型植物材料 -</b>	座長 稲垣 昌幸 住友ベークライト
		矢野 浩之 (京都大学 教授)	
16:15-17:00	招待講演 (S-9)	<b>元素間融合を基軸とする新物質開発と応用展開</b>	
		北川 宏 (京都大学 教授)	
17:00-17:20		ポスター賞表彰式	
17:20-17:30	閉会	<b>閉会挨拶</b>	
		十倉 雅和 ((公社) 新化学技術推進協会 副会長)	

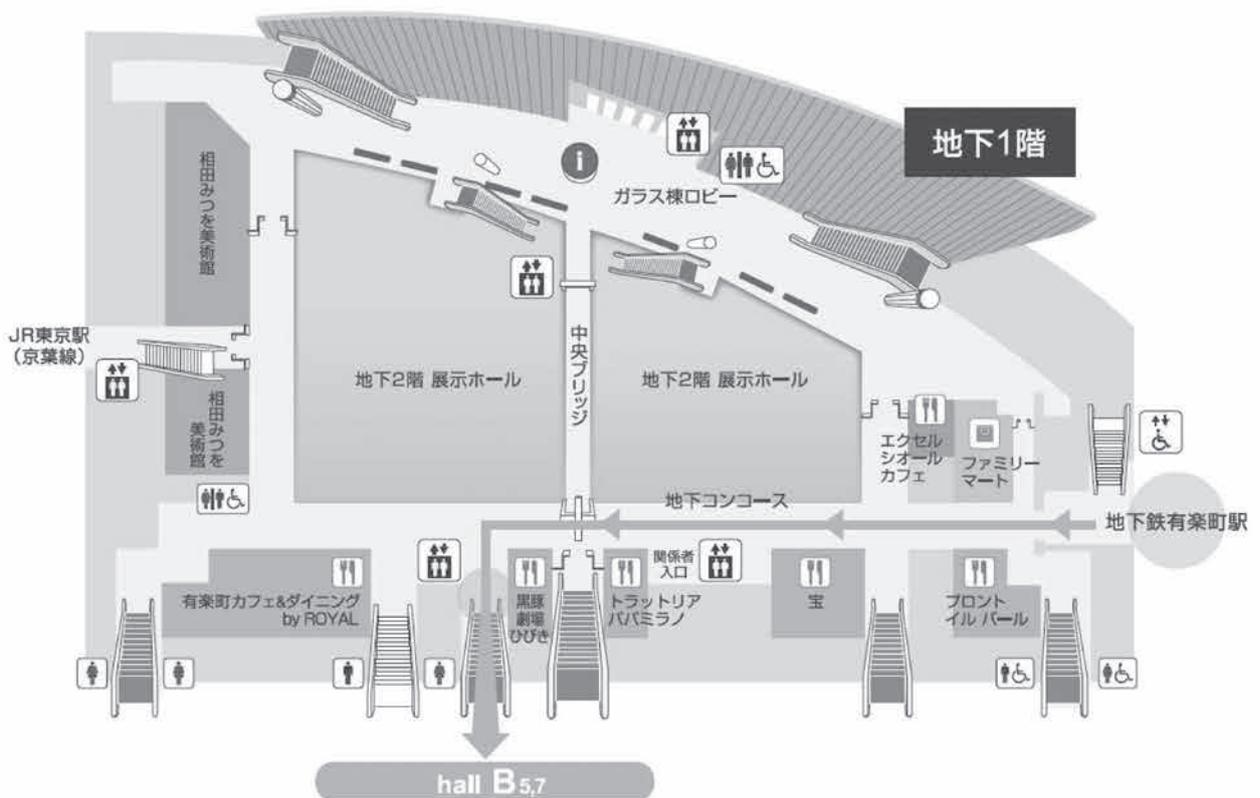
\* 講師はやむを得ない状況により変更される可能性があります。

アクセスマップ

■ JR東京駅・JR有楽町駅からホールB7へ



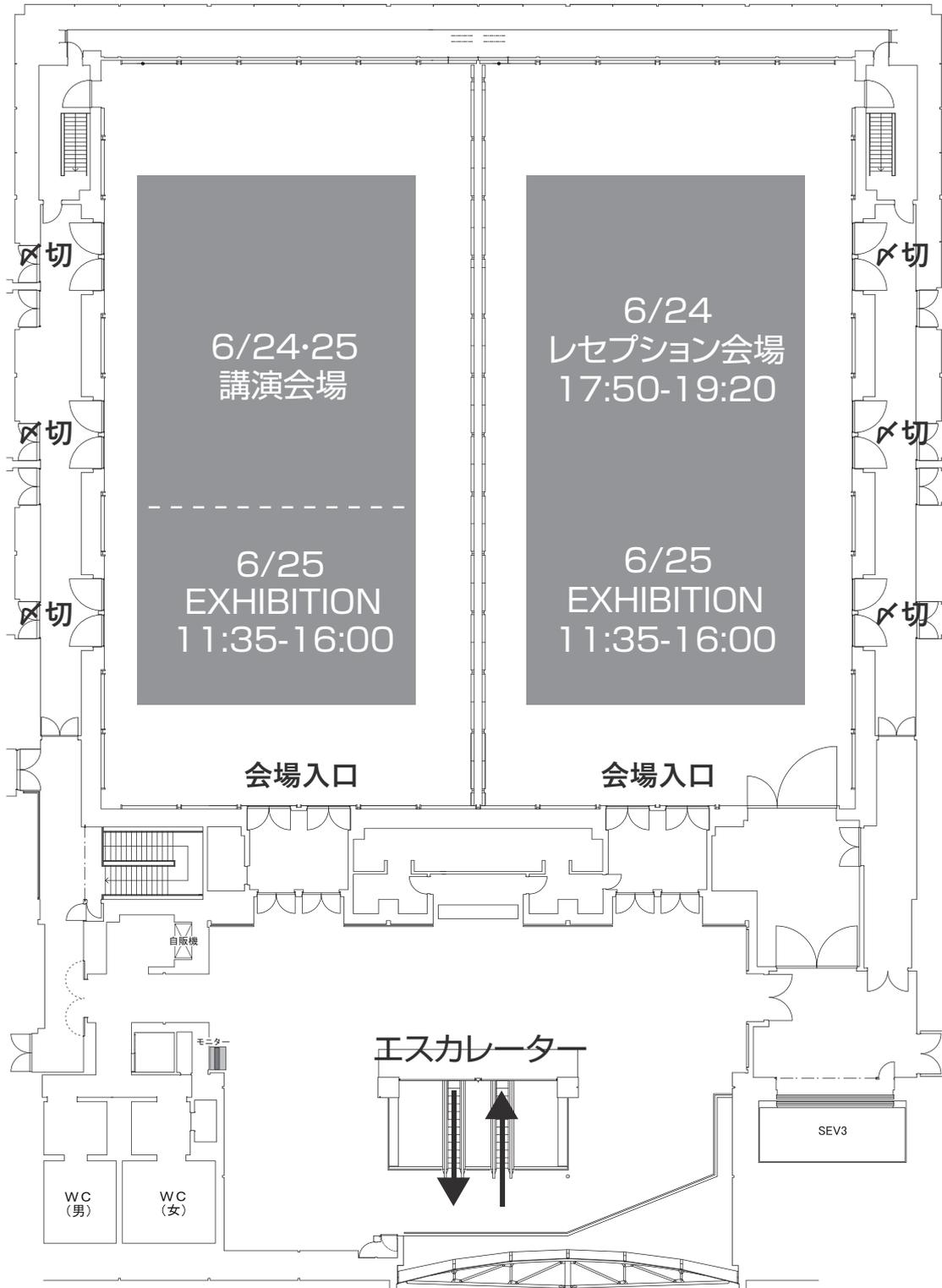
■ 地下鉄有楽町駅からホールB7へ





# 会場案内図

## ■ 東京国際フォーラム 7F ホール B7





## 会員・後援団体

### 公益社団法人新化学技術推進協会 正会員

株式会社IHI	昭和電工株式会社	東亜合成株式会社	日本ゼオン株式会社
旭化成株式会社	信越化学工業株式会社	東京応化工業株式会社	日本曹達株式会社
AGC 株式会社	信越ポリマー株式会社	東ソー株式会社	日立化成株式会社
株式会社旭リサーチセンター	日鉄ケミカル & マテリアル株式会社	東洋インキSCホールディングス株式会社	株式会社日立製作所
味の素株式会社	株式会社住化技術情報センター	東洋エンジニアリング株式会社	日立造船株式会社
株式会社ADEKA	株式会社住化分析センター	東洋紡株式会社	株式会社フコク
出光興産株式会社	住友化学株式会社	東レ株式会社	富士ゼロックス株式会社
宇部興産株式会社	住友精化株式会社	株式会社東レリサーチセンター	富士フイルム株式会社
花王株式会社	住友ペークライト株式会社	株式会社トクヤマ	株式会社ブリヂストン
株式会社カネカ	積水化学工業株式会社	凸版印刷株式会社	古河電気工業株式会社
川崎重工業株式会社	セントラル硝子株式会社	トヨタ自動車株式会社	保土谷化学工業株式会社
株式会社クラレ	ダイキン工業株式会社	長瀬産業株式会社	丸善石油化学株式会社
株式会社クレハ	株式会社ダイセル	日油株式会社	三井化学株式会社
KHネオケム株式会社	大日精化工業株式会社	日揮株式会社	三菱瓦斯化学株式会社
コニカミノルタ株式会社	大日本印刷株式会社	日産化学工業株式会社	三菱ケミカル株式会社
三洋化成工業株式会社	大陽日酸株式会社	日本カーバイド工業株式会社	株式会社三菱ケミカルリサーチ
JSR株式会社	千代田化工建設株式会社	日本化薬株式会社	株式会社モルシス
JXTG エネルギー株式会社	DIC株式会社	日本軽金属株式会社	ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター株式会社
JNC株式会社	帝人株式会社	株式会社日本触媒	横河電機株式会社
株式会社JSOL	デンカ株式会社	株式会社日本政策投資銀行	横浜ゴム株式会社
株式会社島津製作所	株式会社デンソー	日本製紙株式会社	株式会社リコー

### 公益社団法人新化学技術推進協会 特別会員

国立研究開発法人科学技術振興機構	公益社団法人高分子学会高分子同友会	公益財団法人地球環境産業技術研究機構	公益社団法人日本分析化学会
一般財団法人化学研究評価機構	公益財団法人相模中央化学研究所	公益社団法人電気化学会	一般社団法人日本分析機器工業会
公益社団法人化学工学会	国立研究開発法人産業技術総合研究所	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター	一般財団法人バイオインダストリー協会
一般社団法人化学情報協会	次世代化学材料評価技術研究組合	公益社団法人日本化学会	国立研究開発法人物質・材料研究機構
関西化学工業協会	一般社団法人触媒学会	一般社団法人日本化学工業協会	一般社団法人プラスチック循環利用協会
一般社団法人近畿化学協会	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	公益社団法人日本セラミックス協会	公益社団法人有機合成化学協会
合成樹脂工業協会	石油化学工業協会	一般社団法人日本塗料工業会	国立研究開発法人理化学研究所
公益社団法人高分子学会	公益社団法人石油学会	日本バイオマテリアル学会	

### 後援予定団体

経済産業省	一般社団法人近畿化学協会	株式会社日刊工業新聞社	公益社団法人日本セラミックス協会
文部科学省	公益社団法人高分子学会	公益社団法人日本化学会	一般財団法人バイオインダストリー協会
環境省	国立研究開発法人産業技術総合研究所	一般社団法人日本化学工業協会	公益社団法人有機合成化学協会
国立研究開発法人科学技術振興機構	一般社団法人触媒学会	日本学術会議	国立研究開発法人理化学研究所
公益社団法人化学工学会	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	株式会社日本経済新聞社	
株式会社化学工業日報社	公益社団法人石油学会	一般社団法人日本経済団体連合会	
関西化学工業協会	公益社団法人電気化学会	日本商工会議所	